

第48回

日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会

[ランチオンセミナー4]のご案内



セミナー
テーマ

光線療法で考える 湿疹・痒み治療へのアプローチ

日時

2018年11月17日(土)
午後12:00~13:00

場所

奈良春日野国際フォーラム
薨~I・RA・KA~
別館 E会場 (190名)

座長

鶴田 大輔 先生
大阪市立大学大学院 医学研究科
皮膚病態学 教授

室田 浩之 先生
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
皮膚病態学分野 教授

演者

1

私が「セラビーム®UV308 mini」を選んだ理由
～接触皮膚炎診療における紫外線治療活用法～

伊藤 明子 先生 (ながたクリニック 副院長)

演者

2

エキシマライトに魅せられて

藤本 智子 先生 (池袋西口ふくろう皮膚科クリニック 院長)



私が「セラビーム®UV308 mini」を選んだ理由 ～接触皮膚炎診療における紫外線治療活用法～

伊藤 明子 先生 ながたクリニック 副院長

パッチテストを活かした接触皮膚炎診療は、いつのまにか私のライフワークとなった。しかしパッチテストはコストと手間暇がかかるわりに保険点数が低く、皮膚科医に十分に普及していない。患者の治療に有用であるほか、製品の安全性を高めることで社会貢献もするが、その評価は低く、大学病院や市中病院で接触皮膚炎診療を続けるための環境確保は常に困難を極めた。いまだにテストをしてはじめて事前の問診で推測できなかった原因によりよく気が付くことも多い。1例1例の症例から学べることはたくさんあり、まだまだ貼り続けたいという思いから2017年秋に皮膚科クリニックを開院した。予算が限られるなか「セラビーム®UV308 mini」を選び、導入した。大学や病院では紹介された患者さんにパッチテストをすることが多い。一方で、クリニックには、治らない皮膚炎の原因検索を望んで自ら受診する患者も多く来院する。原因は必ずしも接触アレルギーとは限らない。そもそも接触皮膚炎診療に携わっていると、接触皮膚炎以外の疾患の鑑別と治療を工夫する必要性に迫られる。薬物療法で治らない皮膚炎に対し、「もう一手」として紫外線治療が活用できる。これまで大学病院、市中病院や診療所で、複数の機種ターゲット型紫外線治療機器を使用してきた経験から「セラビーム®UV308 mini」を導入した理由とクリニックでの紫外線治療機器の活かし方、留意点を紹介したい。

【略歴】

- 1993年 新潟大学医学部卒業
新潟大学医学部付属病院皮膚科、
新潟医療共同生活組合木戸病院皮膚科で研修
- 1999年 新潟大学大学院医学研究科卒業（医学博士）
新潟市民病院皮膚科に勤務
- 2000年～2016年 新潟大学医歯学総合病院皮膚科
医員、助教、講師、特任准教授、
病院准教授を経て
- 2017年10月 ながたクリニック開院

日本皮膚免疫アレルギー学会評議員・学術教育委員・広報委員
日本接触皮膚炎研究班委員
日本皮膚科学会キャリア支援委員



エキシマライトに魅せられて

藤本 智子 先生 池袋西口ふくろう皮膚科クリニック 院長

光線療法は、湿疹皮膚炎群や炎症性角化症、皮膚リンパ腫や白斑など、日常診療で遭遇する頻度の高い慢性疾患に対しての治療選択肢として非常に頼りになる存在である。また保険適用上の疾患のみならず、診療上では痒みを伴う疾患に対して非常に有効であると感じている。アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬やその他痒みを起こす皮膚疾患の光線療法の治療経験を供覧しその機序について考えてみたい。また当院では開院当初から308nmの波長を有するナローバンドUVBとターゲット型エキシマライトを設置しているが、特にセラビーム®UV308 miniは、場所をとらず移動が簡単で日本語表示といった特徴があるため、圧倒的にスタッフが扱いやすい機械であるという利点がある。光線療法は患者側にとっても受け入れやすい治療であり、受診動機や治療継続のモチベーションにもなっており、今後もますます治療選択肢にかかせないものであると思われる。

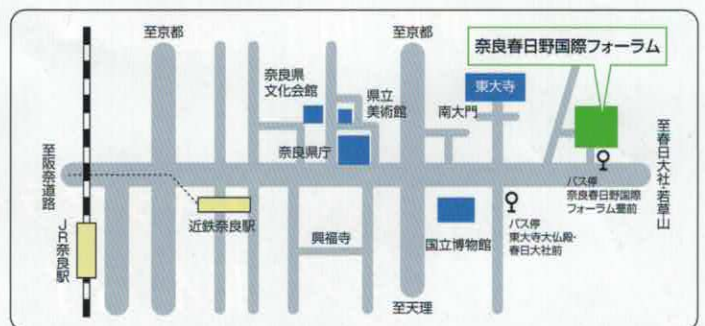
【略歴】

- 2001年 浜松医科大学医学部医学科卒業
- 同 東京医科歯科大学皮膚科入局、関連病院を経て
- 2005年 東京医科歯科大学皮膚科医員、助教
- 2011年 多摩南部地域病院皮膚科医長
- 2014年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
生体環境応答学系専攻生体応答学講座皮膚科学分野修了
- 2014年 東京都立大塚病院皮膚科医長
- 2017年 池袋西口ふくろう皮膚科クリニック院長（現職）

会場案内



奈良春日野国際フォーラム 麓～I・RA・KA～
奈良市春日野町101



【バス】

- (1) 近鉄奈良駅5番出口より奈良交通バス1番のりば
- (2) JR奈良駅より奈良交通バス東口2番のりば
- (1)、(2)とも

アクセス

【徒歩】
近鉄奈良駅2番出口より徒歩20分

「春日大社本殿」行き「奈良春日野国際フォーラム」下車すぐ又は、
「市内循環（外回り）」バス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車、大仏殿交差点東へ徒歩3分

会場へのアクセスは
コチラをご覧ください。

